

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	道路新設改良一般事務			
予算科目	8 款 2 項 3 目			
総合計画での位置付け	都市基盤の整備 道路・交通基盤の整備			
所管課情報	担当課: 土木管理課		電話番号(内線): 578	
記入者情報	所属長: 木曾 信之		担当責任者: 石崎 恵美	
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	道路利用者			

事業の目的	市民生活の利便性を向上させるために実施する市道(局部)拡幅改良工事、舗装改良工事等の一般事務を行い、円滑な事業の執行に努める。
事業の内容	道路(局部)拡幅改良工事、舗装改良工事等に伴う事務
改善策の 具体的 取り組み (当初)	事業を遂行する上では必要な経費である。執行においては引き続き経費縮減に取り組む。
改善策の 具体的 取り組み	

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	487	570	241	469
	人件費	813	795	397	795
	合計	0	1,365	638	1,264
人件費 内訳	人工数	0.10	0.10	0.05	0.10
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	813	795	397	795
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	1,300	1,365	638	1,264

成果指標				
成果指標	決算額÷予算額=執行率(95%以下を目標とする)			
指標設定の考え方	予算の執行率でコスト縮減が図られているか検討する。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目 標	95%	95%	95%	0
実 績	74%	82%	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	事業活動の実績においては、前年度と比較して経費を削減することができた。なお、引き続き経費の効果的な執行に努め、コスト縮減に向けた取り組みを行う必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	担当責任者の記載のとおり			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題